

第24回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

---

# TDM施策モデル箇所を取組状況

---

- これまでの検討経緯
- TDM実施モデル箇所について
- TDM実施モデル箇所における交通状況

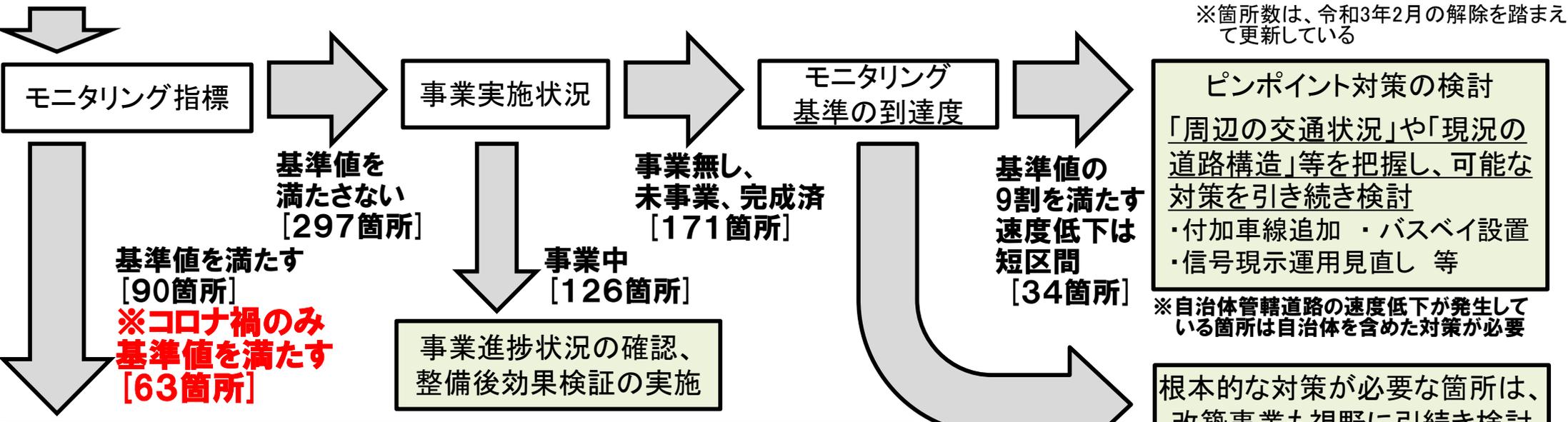
令和3年8月24日

5-1 これまでの検討経緯 (主要渋滞箇所のモニタリング・対策方針検討(対策検討フロー))

○主要渋滞箇所387箇所について、緊急事態宣言中のモニタリング結果をもとに対応方針を検討した。

コロナ禍において交通量が減少

主要渋滞箇所(直轄98箇所・その他289箇所の計387箇所)\*



**【TDM(交通需要マネジメント)施策の推進】**

- ・交通手段の変更(パークアンドライド・公共交通、自転車利用等の利便性向上等)
- ・交通需要の時間帯平準化(時差出勤・フレックスタイム等)
- ・交通分散を図る経路変更(HP・デジタルサイネージ等による交通情報提供等)
- ・自動車交通の発生量調整(在宅勤務・ナンバー規制、ロードプライシング等)
- ・自動車の効率的利用(相乗り・カーシェアリング・共同集配等)

**ピンポイント対策の検討**  
 「周辺の交通状況」や「現況の道路構造」等を把握し、可能な対策を引き続き検討  
 ・付加車線追加 ・バスベイ設置  
 ・信号現示運用見直し 等

※自治体管轄道路の速度低下が発生している箇所は自治体を含めた対策が必要

**根本的な対策が必要な箇所は、**  
 改築事業も視野に引続き検討  
 ・バイパス整備  
 ・現道拡幅  
 ・交差点立体化 等

※自治体管轄道路の速度低下が発生している箇所は自治体を含めた対策が必要

**長区間に渡り基準値を大きく満たさない**  
 [137箇所]

※TDM (Transportation Demand Management)  
 交通需要マネジメントとは、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取組み

## 5-2 TDM実施モデル箇所について(選定状況)

○前回委員会において、緊急事態宣言中にモニタリング基準値を満たした63箇所のうち、箱根周辺の2箇所の主要渋滞箇所(箱根湯本駅前、三枚橋交差点)を選定した。

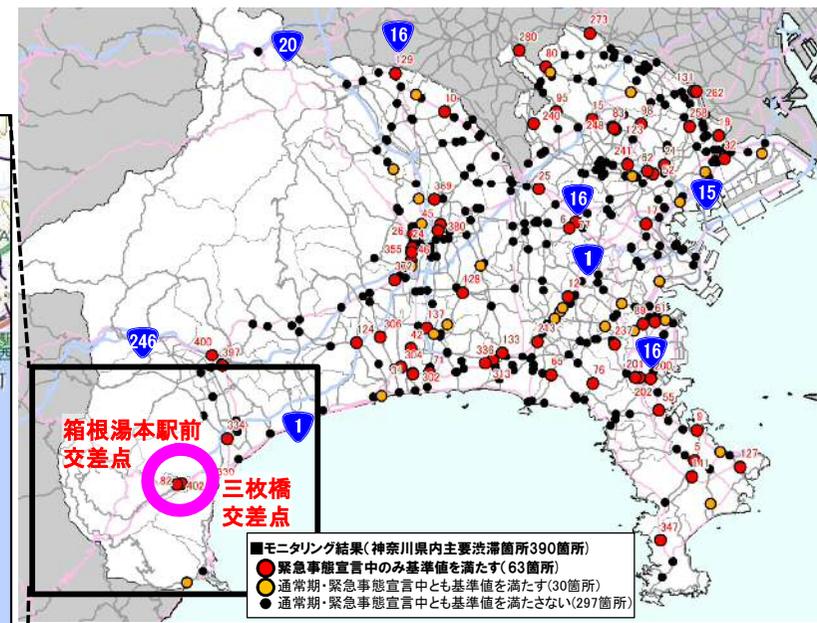
■場所 神奈川県箱根町 国道1号 箱根湯本駅前、三枚橋交差点

### 1. 位置図

【広域平面図】



【詳細平面図】



### 2. モニタリング基準値の達成状況 箱根湯本駅前交差点 三枚橋交差点

	コロナ前	コロナ中		コロナ前	コロナ中
指標①	17.5km/h	30.6km/h	指標①	22.4km/h	35.8km/h
指標②	15.4km/h	28.1km/h	指標②	15.3km/h	24.6km/h
指標③	5.3km/h	15.6km/h	指標③	5.4km/h	13.2km/h

※指標①: 平日昼間12時間の平均旅行速度(基準値20km/h)  
 ※指標②: 平日昼間12時間のピーク時旅行速度(基準値10km/h)  
 ※指標③: 休日5%マイル旅行速度(基準値10km/h)  
 出典:ETC2.0プローブデータ コロナ前:H31.1~R1.12  
 コロナ中:R2.4.7~R2.5.25

## 5-2 TDM実施モデル箇所について(具体的な取り組み)

- 箱根DMO(一般社団法人箱根町観光協会)では2021年1月25日より、箱根の交通情報を一元化し、混雑状況の配信を開始した。(神奈川県「混雑緩和に係る新たな観光モデル創出推進事業」として取り組み)
- 「渋滞が発生する国道1号の渋滞情報や大涌谷駐車場の満空情報・待ち時間などの発信」「公共交通2社の運行情報表示デザインの統一化・視認性の向上」「箱根DMOが運営する観光サイトやサイネージ上での情報発信」を通じ、来訪者の渋滞回避・密を回避し混雑の少ないルートへ回遊促進を図ることを目的としている。

### ■バスロケを利用した所要時間の情報発信概要

(実施背景)

- ・箱根エリアの宮ノ下～箱根湯本間(国道1号)は特に渋滞が発生しやすい

(概要)

- ・路線バスのバスロケーションシステムを活用して、所要時間情報を発信
- ・公共交通機関および一般道路の代替ルート、周辺のスポン情報を表示



- ・呼びかけ対象:箱根地域を来訪した観光客
- ・呼びかけ項目:公共交通機関や迂回ルートの利用、待機時間の有効活用
- ・呼びかけ効果:混雑道路・混雑時間帯の回避立ち寄りスポットの来客増

### ■大涌谷駐車場の満空情報・待ち時間の情報発信概要

(実施背景)

- ・県道734号線大涌谷三叉路～大涌谷園地にかけて、慢性的な渋滞・駐車場の許容オーバーが発生

(概要)

- ・満空表示システムの導入
- ・WEB上での情報発信
- ・箱根ロープウェイの各駅で駐車場情報を表示し、箱根ロープウェイへ乗り換えを促進



- ・呼びかけ対象:大涌谷を来訪した観光客
- ・呼びかけ項目:混雑状況提示で利用時間帯の変更、代替ルートの利用
- ・呼びかけ効果:駐車場混雑緩和、待ち時間の不満緩和、公共交通利用の促進

# 5 TDM施策モデル箇所を取組状況

## 5-3 TDM実施モデル箇所における交通状況

- 箱根周辺では、とくに小田原箱根道路や西湘バイパスと観光名所を繋ぐ国道1号宮ノ下～箱根湯本周辺の速度低下が顕著となっている。
- コロナ前後を比較すると、17時台以降で若干の速度改善が見受けられるが、交通量がコロナ前に比べ12%程度減少しており評価が困難であるため、今夏以降の交通状況を踏まえて施策の効果分析を実施する。

コロナ前(R1GW 4/27-5/6) ピーク時(17時台)



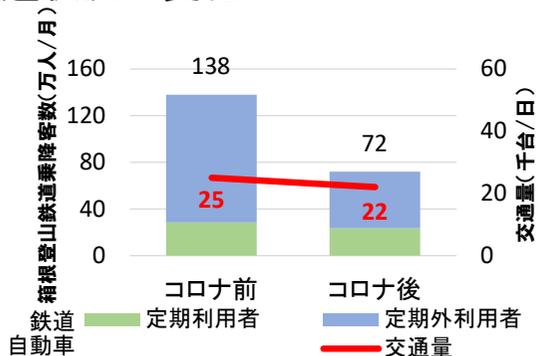
コロナ後(R3GW4/29-5/5) ピーク時(17時台)



### ■コロナ前後の来客数・交通状況の変化

定期外鉄道利用者...55.7%減  
交通量...11.8%減

出典：直轄トラカンデータ (国道1号 入生田断面)  
分析時期：コロナ前 H31.4.27-R1.5.6  
コロナ後 R3.4.29-5.5  
箱根登山鉄道利用者は  
コロナ前R1.5・コロナ後R3.5の比較



### ■コロナ前後の休日旅行速度の推移 (国道1号 宮ノ下→箱根湯本間)

